

す・とうぶだより

2019-12月号

そして3年目へ。

気が付くと、協力隊になって2年が過ぎました。去年の自分と比べて、できること・わかること・やれそうなることの判断がつくようになってきた気がします。

養蜂は、師匠に譲っていたいたミツバチがスズメバチにやられて全滅しましたが、販売者としては、イベント出店や、一時的にお店を借りたり、お店に営業をかけて商品を置いてもらったりと、何歩か進んだ気がします。

えごまは、なんと去年のおよそ数倍の収穫ができました！今は、脱穀・洗浄・搾油に大忙しで、休むヒマもありません。効率のいい作業方法を求めて、師匠と試行錯誤するのが楽しいです。

最近、東部になじんできている自分がちよつと好きです。可能な限りの定住目指して、最後の1年を頑張つていこうと思います。(加藤)



えごま油は化粧箱も作りました



レンタルした耕うん機

冬の作物と言えば麦！ということで、大麦の栽培をするため、今借りている畑で、種まきを開始しました。

今回はレンタルの耕うん機を借りて、約8畝の畑を耕しました。

インターンシップで来てくれていた大学生のお力も借りて種まき終了です。

芽が出たら麦踏や除草など、やったことが無いけれども、自分でやってみて経験したいことが盛りだくさんです。

上手く育てば、麦茶やビールの原料に使えるのでとても楽しみに栽培していきます。(青野)

麦の種まき！

食育フェスタに出店。

10月26日から27日の2日間、ならファミリーで開催された「奈良市食育フェスタ」に東部の製品のPRのために出店しました。

加藤隊員のはちみつ・えごま油の他にも田原のりんごや和紅茶など、試食・試飲をしていただきながら、販売しました。

会場では食育に関する様々なセミナーや料理教室等も行われ、多くの人でにぎわいました。

奈良市東部で、えごまを栽培していることや、りんご園があることを知らない方が多く、このような機会を通して、東部地域に関心を持っていただければと思います。

後日りんご園の窪田さんから食育フェスタで知って訪ねてきた方がいらつしやうとお聞きして嬉しく感じました。(松村)



「奈良市東部の体にええもん」をテーマとしてブース展開